

あるべき姿(概ね30年後)

- 企業経営を実践している農林漁業者をはじめ、多様な担い手が地域の生産基盤を有効に活用することにより、生産性の高い農林水産業が展開されるとともに、安全・安心な農林水産物が安定供給されています。
- 日本一のかきやレモンに加えて、「広島和牛」や「瀬戸内さかな」などの農林水産物を核とした新たな食の産業が集積され、ひろしまブランドが向上しています。

目指す姿(5年後)

スマート農業の実装が進むなど生産性の高い農業が確立され、企業経営を実践する経営体が育成されています。その結果、農業の魅力が高まり、企業経営を目指す若い農業者も増加しています。また、こうした経営体が農地を集積するとともに、多様な主体と連携しながら有効活用していくことにより、農産物の生産が拡大しています。

比婆牛や神石牛などの「広島和牛」が県民や観光客に喜ばれ、広島を代表する価値の高い食資産のひとつとして認識されています。また、畜産経営体においては、生産体制と労働環境が整った収益性の高い企業経営が確立されています。

県内人工林約14万haのうち、資源循環林4万haにおいて、林業経営適地の集約化が進められ、経営力の高い林業経営体により、年間40万㎡の県産材が安定的に生産される持続的な経営が開始されています。また、年間40万㎡の県産材が、生産から流通、加工、利用まで効率的に流れ、社会において有効な資源として利活用されています。

かき養殖においては、デジタル技術の活用や環境変化への対応により、効率的で持続可能な生産体制が再構築され、全国一の生産量が維持されるとともに、国内をはじめ海外における販路が広がっています。海面漁業においては、資源管理や漁場環境の整備などにより、安定的な漁獲量の確保と供給体制の構築が進んでいます。さらに、かきだけでなく、「瀬戸内さかな」が広島を代表する食資産として県民の誇りになっているとともに、観光客の訪問のきっかけになっています。

用語解説

資源循環林…木材生産を行う林業経営を通じて適切に維持・管理された森林。  
林業経営適地…現場条件が良く、一定規模の面積としてまとまっており、地域の関係者により持続的な林業経営を行う場所として設定された森林。  
海面漁業…海面において、利潤又は生活の資を得るために、生産物の販売を目的として、水産動植物を採捕すること。

指標

農業産出額  
(畜産物除く)

| ビジョン策定時点<br>(R2)の現状値 | 現状値           | 5年後の目標値<br>(R12) |
|----------------------|---------------|------------------|
| 703億円                | 906億円<br>(R6) | 976億円            |

目標設定の考え方

企業経営体の育成が進むなど、農産物の生産拡大に向けた取組が概ね順調に進捗しており、今後もスマート農業の実装や担い手への農地集積などにより、地域の持続性を確保するとともに、経済として成長を実感できる状態として、現状値から増加させる目標を設定した。

広島血統和牛の取引額  
(広島食肉市場)

| ビジョン策定時点<br>(R2)の現状値 | 現状値           | 5年後の目標値<br>(R12) |
|----------------------|---------------|------------------|
| 9.3億円                | 8.6億円<br>(R6) | 12.4億円           |

目標設定の考え方

広島和牛を牽引する比婆牛や神石牛等の広島血統和牛が、県民や観光客に対して価値の高い食資産として認知が高まっている状態と、その需要の増加に応じた生産が実現している状態として、目標を設定した。

県産材(スギ・ヒノキ)生産量

| ビジョン策定時点<br>(R2)の現状値 | 現状値            | 5年後の目標値<br>(R12) |
|----------------------|----------------|------------------|
| 34.8万㎡               | 38.9万㎡<br>(R6) | 40万㎡             |

目標設定の考え方

資源循環林4万haにおいて、将来にわたって持続的な林業経営が行われている状態を実現するために必要な県産材の年間の生産量を目標として設定した。

かき生産量

| ビジョン策定時点<br>(R2)の現状値 | 現状値             | 5年後の目標値<br>(R12) |
|----------------------|-----------------|------------------|
| 17,200t              | 16,900t<br>(R6) | 17,000t          |

目標設定の考え方

広島県のかき養殖漁場は、年間2万トンの生産量を支える能力を有するものの、近年の海水温の上昇や海の貧栄養化の影響がより深刻化していることから、喫緊の課題であるへい死や成育不良の増加を食い止めながら、現状の生産量を維持することを目指して設定した。

海面漁業生産額

| ビジョン策定時点<br>(R2)の現状値 | 現状値              | 5年後の目標値<br>(R12)  |
|----------------------|------------------|-------------------|
| 65億円<br>(H28～R2平均)   | 68億円<br>(R1～5平均) | 70億円<br>(R8～12平均) |

目標設定の考え方

近年、減少傾向にある漁獲量を現行水準に維持するとともに、「瀬戸内さかな」が広島を代表する食資産に成長することで需要が喚起されている状態として、現状値から増加させる目標を設定した。

広島血統和牛…江戸時代後期に、比和村(現庄原市比和町)の岩倉六右衛門が作り出した黒毛和牛4大ルーツのひとつ「岩倉蔓」に代表される、広島県固有の血統を現在も引き継ぐ広島県産和牛。  
へい死…動物が病気や環境要因によって死亡すること。

## 目指す姿の実現に当たって考慮すべき課題

- 農業者の高齢化や労働力人口の減少等により、農業産出額の減少が懸念される中でも、条件不利な中山間地域が大部分を占める本県で、持続可能な農業を行うためには、新規就農者の確保と企業経営への発展による地域農業を支える担い手育成の仕組みづくり、生産性の高いビジネスモデルへの転換、担い手への農地の集積・集約化などによる地域における農地の有効活用を一体的に進める必要があります。
- これまでの比婆牛ブランド化の取組により、県民や観光客への比婆牛の認知は広がっており、今後更なる「ひろしまブランド」の価値向上に向けては、神石牛など他の銘柄牛のブランド戦略も検討する必要があります。  
また、ブランド化の進展に伴って、安定的に肥育用子牛が確保できる生産体制を構築するとともに、円安や物価高など社会情勢の変化にも耐えられるよう、経営体質の強化を図る必要があります。
- 所有者や境界が不明な森林の増加などによる林業経営適地の集約化が進み難い状況や、木材価格の低迷による採算性への不安などが影響し、再造林が進んでいない状況を踏まえ、長期的に安定した林業経営の確立に向けて取り組む必要があります。
- 海水温の上昇や海の貧栄養化が水産業に影響を及ぼしていることから、かき養殖では、持続的で環境にも配慮した養殖方法へ生産体制を見直すとともに、生鮮かきの将来的な国内需要の減少を見据えた対応が必要です。
- また、海面漁業では、「瀬戸内さかな」が県民の誇りとなるよう、「こだわり漁師」や白身魚の魅力に焦点を当てたブランド力の強化と流通の改善を進めるとともに、気候変動にも適応しながら水産資源を維持・増大させ、漁獲量の減少に歯止めをかける必要があります。

## 目指す姿の実現に向けた取組の方向

### ① 地域の核となる担い手の育成

経営発展を目指す担い手を確保するとともに、地域のモデルとなる企業経営体の育成に向け、発展段階に応じたマネジメント力の向上や雇用環境の整備を支援します。

また、若者が魅力を感じる企業経営を実現し、雇用就農者の確保に注力するとともに、安心して挑戦することができる環境の整備、企業経営体からの独立経営の開始や経営継承を進めることにより、新規就農者の確保に取り組めます。

### ② 担い手の経営発展に向けた生産性の向上

ロールモデルの育成等により、スマート農業技術の実装を加速させるとともに、「おいしい！広島」を支える魅力ある農産物の生産から販売までのバリューチェーン強化や、多様な業種の企業との連携によるイノベーションの創出などを通じて、企業経営体の生産性向上を進めます。

また、鳥獣被害対策や環境負荷低減対策を強化し、持続的な生産体制の構築に取り組めます。

#### 用語解説

こだわり漁師…最高に美味しい瀬戸内さかなを獲るために情熱を注ぐ、漁場選びや漁法、魚の取扱いなどにこだわりを持つ漁師。  
バリューチェーン…商品を最終的なユーザーに提供するまでの、企画、開発・設計、組立・製造、販売、サービスといった価値創造の工程の連なり。

### ③ 担い手への農地集積と基盤整備・保全管理

地域農業の目指す姿や農地の維持方針が地域での話し合いにより整理され、大規模な水稻経営や収益性の高い園芸作物の生産など、農地の有効活用につながるよう支援します。

また、効率的な営農作業が可能となるよう農地の大区画化や水利施設の整備などの基盤整備を行い、担い手への農地集積・集約を加速させるとともに、多様な主体が連携しながら農地や農業用施設の保全管理が可能となる体制づくりを支援します。

### ④ 持続可能な広島和牛生産体制の構築

比婆牛のブランド化によって高まった広島血統和牛のプレゼンスを生かし、神石牛などのブランド戦略に波及させることで、代表的な食資産として「おいしい！広島」を支え、広島和牛全体の需要拡大につなげるとともに、拡大した需要に対応できるよう、人工授精や受精卵移植などにより生産体制を強化することで、生産量の増加と流通量の確保に取り組みます。

また、畜産経営の体質強化に向け、スマート技術の導入や自給粗飼料の確保などにより、収益性が高く外的要因の変化に影響を受けにくい企業経営体の育成に取り組むとともに、畜産経営者の確保に向け、企業経営体からの独立経営の開始や経営継承を進めます。

### ⑤ 森林資源経営サイクルの構築

林業経営適地の資源・所有者・境界などの情報の精度を高めることで、集約化を進めるとともに、森林の適切な経営管理に必要な林業従事者の確保・育成や、再造林に必要な苗木供給体制の整備に取り組めます。

また、低コスト施業技術の導入や、増加している獣害への効果的な対策などにより、森林資源経営サイクルの収支が改善されるよう取り組みます。

### ⑥ 森林資源利用フローの推進

県産材の流通・加工体制の整備や、木材製品の販路の確保を図るとともに、住宅分野の需要の減少に備えて、低層非住宅建築物の木造化・木質化を進めるなど、県産材の需要拡大に取り組めます。

### ⑦ 持続可能なかき生産出荷体制の再構築

環境変化に対応した科学的な根拠に基づく養殖管理方法への転換や、環境にやさしい養殖資材の活用などを進めるとともに、海外にも販路を確保することで、持続的にかき生産が行える体制の再構築に取り組めます。

### ⑧ 「瀬戸内さかな」の安定供給体制の構築

効果的な情報発信による「瀬戸内さかな」の更なるブランド力強化と流通拡大により、代表的な食資産として「おいしい！広島」を支え、漁業経営の収益性向上を図り、担い手の確保・育成につなげるとともに、資源管理や漁場環境の整備などにより水産資源の維持・増大を図ることで、「瀬戸内さかな」を持続的に安定供給できる体制の構築に取り組めます。

#### 重点項目に関する主な取組

- 生産性の高い持続可能な農業の実現に向けて、担い手の確保・育成、生産性の向上、農地の有効活用といった各施策を総合的に進めます。
- 海洋環境の変化やかき殻の堆積超過など、新たに顕在化している課題を踏まえ、持続可能なかき生産出荷体制の再構築の取組を進めます。